

# 出初式で決意新たに

## 奥尻町消防団出初式

檜山広域行政組合奥尻町消防団（団長・神崎通）の出初式が、1月4日に海洋研修センターで行われました。

当日は、町内5分団の団員66名と婦人防火クラブ員36名、職員12名の合わせて114名が参加し、奥尻消防署前から同センターまで勇壮な姿で分列行進を行い、途中の役場前での観閲式では神崎団長、和田町長、新村町議会議長らの観閲

者に敬意を表していました。

また、出初式には来賓約40名も参列し、神崎団長から新年を迎えるの防火の決意が述べられたのをはじめ、来賓の和田町長や新村町議会議長らの激励の言葉に、団員達は気を引き締めて防火、防災への決意を新たにしていました。

なお、この席上で次のおり永年勤続に伴い団員が表彰されましたのでご紹介します。

### 北海道消防表彰（知事）

#### 【10年表彰】

- 班長 泉澤 希仁さん
- 団員 羽立 大さん
- 団員 高田 吉浩さん
- 団員 明上 光さん

### 北海道消防協会表彰

#### 【特別功績章】

- 分団長 小島 正敏さん



婦人防火クラブ員、消防車も分列行進



高杉所長の挨拶（青苗救難所）

## 青苗・奥尻救難所出初式

#### 【20年勤続章】

- 副分団長 小濱 正人さん
- 部長 高橋 明さん

#### 【10年勤続章】

- 副分団長 三浦 敏幸さん
- 部長 天内 鉄美さん
- 団員 松前 幸悦さん
- 団員 寺島 浩光さん
- 班長 泉澤 希仁さん
- 団員 上野 主之さん
- 団員 羽立 大さん
- 団員 高田 吉浩さん
- 団員 明上 光さん
- 団員 寺島 尚弘さん
- 団員 松前 敏男さん

## 水防シンボルマークが決定

国土交通省では、水防月間制定20周年記念行事の一環として、水害から国民の生命と財産を守る水防活動の重要性を一般に周知し、さらなる水防思想の高揚を図るため、多くのみなさんにとってわかりやすく印象に残る「水防」についてのシンボルマークを募集していました。

このたび、全国から1,369作品（応募者761名）の応募があり、審査の結果、次のとおりシンボルマークが決定しました。

なお、このシンボルマークは、平成20年以降の水防月間ポスターなどの広報活動に使用されます。

最優秀賞（国土交通大臣賞）

高橋 政幸さんの作品（北海道）



日本水難救済会の青苗救難所（所長・高杉鶴雄）と奥尻救難所（所長・水野諭）の新年出初式が1月3日にそれぞれ行われ、制服・制帽姿の勇ましい所員20数名ずつがそれぞれ列席しました。

式典では両所長の挨拶をはじめ、来賓の和田町長や新村町議会議長らの祝辞を受け、海難事故を今年もなくしてい

くよう、新年早々に参加者全員で誓い合っていました。



列席した制服・制帽姿の所員たち（青苗救難所）

## ☆第一生命からAED寄贈



▲寄贈されたAED

昨年12月、第一生命労働組合函館営業職支部から奥尻町に「自動体外式除再動器（AED）」1台が寄贈されました。この寄贈は、第一生命保険相互会社が創

立60周年を迎えたことから、同社労働組合が社会貢献事業の一環として「渡島・檜山地域のAEDの普及」を目指すこととし、チャリティーバザーの収益金と組合費で購入したものを奥尻町はじめ函館市、北斗市の道南地域3自治体に贈られたものです。奥尻町については離島ということもあり、救急患者等が発生した場合には緊急ヘリコプター要請をせざるを得ない状況下にあるため、さらには、現在AEDの配置が2台しかない現状も考慮し、檜山管内では奥尻町が一番最初の寄贈となりました。なお、この寄贈されたAEDは、昨年12月27日から奥尻消防署青苗分遣所に配置されています。



組合員が手づくりで次々と完成させていく

## ☆転落者の人命救助のため

奥尻船主組合（組合長・石岡克夫）では、奥尻港湾内での転落者の人命救助を図るため、このたび、緊急用の「縄ばしご」を製作し

て港湾内設置しました。同組合では、ここ数年間で港湾内に転落する方が後を絶たず、また、港湾内に現在備え付けのタラップ（緊急避難階段）が少なく、その間隔距離も遠いので、一度落ちたらなかなか這い上がりづらいといわれていることから、組合員が自主的に緊急用の縄ばしごを手づくりで製作し、港湾内16箇所に設置したものです。縄ばしごは、組合員が水道のパイプに太いロープを通すなどして頑丈に、しかも発見しやすく、上がりやすく工夫されており、「万一海に落ちてもこのはしごを使ってすぐに上がってほしい。冬の海への転落はすぐに命取りになるので、少しでも人命救助に役立てれば……」と仰っていましたが、「今後もその数を増やしていく予定だが、できればこのはしごを利用することがないよう、海への転落には十分に気をつけてほしい」と、注意を強く呼びかけていました。



## まちの話題あれこれ

浜風公園で点灯を続けていたイルミネーション



## ☆青苗でイルミネーション

青苗町内会（会長・古谷聖司）では、町内の浜風公園内に新しいイルミネーションを点灯させました。この点灯は、住みよい街づくりと明るい街づくりを目指す町内会活動の一環として行われたもので、材料費や設置費約20万円をかけ、数年前に設置した古いイルミネーションを町内会員の手で全面的に改修しました。点灯は、昨年12月15日（土）から今年1月15日（月）までの1ヵ月間実施されましたが、新しくきれいなイルミネーションが夜の青苗市街地に浮かび上がり、町内会員や訪れる方々の癒しと憩いの場となっていました。



奥尻港湾内に設置された縄ばしご

# ★わが家の ★アイドル★



川島 寿樹さん（字奥尻）の  
くるみ  
長女 来未ちゃん（1歳6ヶ月）

～両親からのメッセージ～  
くうたん♡テンパ可愛いね♡ パパ・ママより

▶サミットへの参加者たち



## いじめ根絶”プロジェクトを実施

### この町からいじめをなくしよう

奥尻町教育委員会では、昨年10月から11月の2カ月間で「奥尻町いじめ根絶」プロジェクトを実施しました。このプロジェクトは、檜山教育局からの「追分ラインいじめ根絶」プロジェクトの要請を受けて、教育委員会と町内各学校が実施主体となっており、その概要は、①各学校でのいじめ根絶に向けた「スローガンづくり」②奥尻町いじめ根絶サミットの開催③いじめ

## ★親子で仲良く料理づくり



奥尻町食生活改善推進協議会（会長・土谷静子）主催の「おやこでチャレンジ！わくわく料理教室」が1月12日に海洋研修センターで開催され、小学生6名、保護者3名の合わせて9名が参加し、親子で料理づくりにチャレンジしました。メニューは「スープカレー」「コーンのサラダ」「フルーツラッシー」の3品で、ぎこちない手つきに保護者や協議会員も身振り手振りで教えると、子どもたちは必死に取り組みながら見事にすべてのメニューを完成させていました。完成品は参加者全員でおいしく試食し、その後ジャンケンゲームや風船バレーなどで遊び、親子で楽しい一日を過ごしました。

撲滅宣言となっています。なかでも昨年11月15日に海洋研修センターで開催された「奥尻町いじめ根絶サミット」では、町内各小・中学校の代表児童や生徒、校長会、町P連、教育委員会などが参加し、いじめ根絶を誓い合っていました。加し、各学校の取り組み内容やスローガン、アピール文を発表するなど、いじめ根絶についての意見交換やいじめ撲滅宣言をし、この町からいじめ根絶を誓い合っていました。